

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用 情報	感染症(PT)	出典	概要
												トリパノソーマ 症	Reuters AlertNet 2007年4月13日	WHOによると、感染の数十年後に死亡する可能性もある寄生虫症、シャーガス病が、不適切な血液スクリーニングが原因でラテンアメリカから米国やヨーロッパに拡大している。WHOはバイエル社の支援を受けて、今や「地球規模の問題」となったシャーガス病根絶のための事業を拡大している。シャーガス病に感染している人は900万人にのぼると見られ、その多くはラテンアメリカの農村部の子どもである。最近では大規模な移民の影響で米国、スペインや他の欧州諸国に広がっている。
												トリパノソーマ 症	CMAJ 2007;177: 242	カナダ血液サービスは、2008年後半の血液製剤製造プロセス見直しの際に北緯49度以北では稀にしか見られないシャーガス病のスクリーニングを開始する。2種類のシャーガス病検査法がカナダ保健省の認可を待っている。供血液の検査実施は、血小板製剤の製造を「バフィーコート」法に切替えてからとなる。メキシコや中南米では800万人〜1,100万人がシャーガス病の保因者であり、毎年45,000人以上死亡している。カナダでは、これまでに輸血による感染が2例マニトバ州で発生した。
												リケッチア症	Jpn J Infect Dis 2007; 60: 241-243	血清学的、微生物学的に確定された日本紅斑熱の初めての死亡症例を報告する。渡辺島在住の77歳男性で、2005年9月2日に食欲低下を呈し、翌日、下腿に皮疹が出現、4日目に38.7℃の高熱、歩行障害、精音障害が出現、肝機能障害が急速に進行し、DIC、消化管出血により8日目に死亡した。右肩にタニ刺し口があった。血液よりDNAを抽出し、PCRを実施したところ、塩基配列はR. japonicaと100%一致した。日本紅斑熱は増加傾向にあり、注意が必要である。
												ツツガムシ病	朝鮮日報 2007年8 月21日	韓国では最近ツツガムシ病の患者が急増している。2007年8月20日、疾病管理本部の発表によると、2002年に1,919人だったツツガムシ病の患者数が、04年は4,698人、06年には6,420人に増加したことが分かった。1993年末に法定伝染病に指定されて以来、患者数は実に25倍以上増加した。ツツガムシ病は、主に9月以降、ツツガムシ菌に感染したツツガムシ(ダニの一種)の幼虫に刺されることにより感染する。10日間程度の潜伏期を経ると、突然高熱が発生し、目の充血、頭痛、筋肉痛、発疹などの症状が現れる。